

平成30年度
(2018)

大学院学生募集要項

文学研究科
経済学研究科
経営学研究科
法学研究科
工学研究科
人間情報学研究科

東北学院大学

目 次

東北学院大学大学院 教学上の3つの方針 … 1

I. 博士前期課程・修士課程

一般選考・社会人特別選考

1. 募集定員	3
2. 出願資格	3
一般選考	3
社会人特別選考	4
3. 出願手続	4
(1)出願書類	4
一般選考および社会人特別選考	4
外国人の方	5
(2)入学検定料	6
(3)出願期間	6
(4)出願書類の提出(郵送)先	6
4. 試験場・試験日・合格発表	6
5. 試験科目・試験時間	7
一般選考	7
文学研究科	7
経済学研究科	8
経営学研究科	8
法学研究科	9
工学研究科	10
人間情報学研究科	11
社会人特別選考	11
全研究科・専攻(共通)	11
6. 入学手続	12
(1)秋季試験合格者	12
(2)春季試験合格者	12
(3)入学手続書類の提出(郵送)先	12
7. 研究計画書作成上の注意	13

推薦選考

1. 募集定員	14
2. 出願資格	14
3. 出願手続	15
(1)出願書類	15
(2)入学検定料	15
(3)出願期間・出願書類の提出(郵送)先	16
4. 試験日・試験場	16
5. 選考方法	16
6. 合格発表	16
7. 入学手続	17
(1)A日程合格者	17
(2)B日程合格者	17
(3)入学手続書類の提出(郵送)先	17

II. 博士後期課程

一般選考・社会人特別選考

1. 募集定員	18
2. 出願資格	18
一般選考	18
社会人特別選考	19
3. 出願手続	19
(1)出願書類	19
一般選考および社会人特別選考	19
外国人の方	20
(2)入学検定料	21
(3)出願期間	21
(4)出願書類の提出(郵送)先	21
4. 試験場・試験日・合格発表	21
5. 試験科目・試験時間	22
一般選考	22
文学研究科	22
経済学研究科	23
法学研究科	23
工学研究科	24
人間情報学研究科	24
社会人特別選考	25
文学研究科・経済学研究科・法学研究科・ 工学研究科・人間情報学研究科	25
6. 入学手続	26
7. 研究計画書作成上の注意	27

学生納付金等 … 28

長期履修制度 … 29

提出書類様式

東北学院大学大学院入学志願書

東北学院大学大学院研究計画書(表紙) 博士前期課程・修士課程

東北学院大学大学院業務報告書(表紙) 博士前期課程

東北学院大学大学院研究計画書(表紙) 博士後期課程

東北学院大学大学院業務報告書(表紙) 博士後期課程

外国人出願事前審査申請書(入学志願書)

東北学院大学大学院推薦選考推薦書

東北学院大学大学院 教学上の3つの方針

文学研究科

博士前期課程

【学位授与の方針】

文学研究科は、博士前期課程において、所定の履修細則に従って30単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で提出した修士論文の審査及び最終試験によって、次の学修成果が確認できた者に、「修士(文学)」の学位を授与する。

1. 英語英文学、ヨーロッパ文化史またはアジア文化史に関する幅広い視野、基本的な知識及び思考力を有すること。
2. 英語英文学、ヨーロッパ文化史またはアジア文化史に関する研究課題について、専門的で学術的な価値のある知見を有すること。
3. 英語英文学、ヨーロッパ文化史またはアジア文化史に関する学術研究の遂行および成果の公表にむけて、研究者として必要な知識、技能、意識を有すること。

【教育課程編成・実施の方針】

文学研究科は、博士前期課程において、学位授与の方針に定めた学修成果を達成するため、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

1. 学位授与の方針に定めた学修成果1を達成することを主たる目的として、「基礎科目」または「選択必修科目」を置く。
2. 学位授与の方針に定めた学修成果1、2を達成することを主たる目的として、英語英文学専攻では提携した他大学院の授業科目の中から選択履修することができるものとし、10単位を限度として課程修了に必要な単位として認める。ヨーロッパ文化史及びアジア文化史専攻では、相互に選択履修することができるものとし、4単位を限度として課程修了に必要な単位として認める。
3. 学位授与の方針に定めた学修成果2、3を達成することを主たる目的として、コースワーク科目とリサーチワーク科目をバランス良く置き、必要な研究指導を行う。
4. 本課程が目的とする人材養成の多様性に対応するため、複数教員による指導体制を採る。

【入学受け入れの方針】

文学研究科は、次の点を確認することにより、博士前期課程への入学を受け入れる。

1. 次の(1)～(3)の人材養成及び再教育という、この課程の目的に合致する入学志望動機と研究課題を有すること。
(1)英語英文学、ヨーロッパ文化史またはアジア文化史に関する高度な専門知識を生かした職業人(教員、学芸員など)
(2)英語英文学、ヨーロッパ文化史またはアジア文化史に関する高度な専門知識を有する社会人
(3)英語英文学、ヨーロッパ文化史またはアジア文化史を専門とする研究者
2. この課程における学修に必要な水準の一般的学力(外国語を含む)を有すること。
3. この課程における高度な専門知識を有する社会人。

博士後期課程

【学位授与の方針】

文学研究科は、博士後期課程において、所定の履修細則に従って12単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で提出した博士論文の審査及び最終試験によって、次の学修成果が確認できた者に、「博士(文学)」の学位を授与する。

1. 英語英文学、ヨーロッパ文化史またはアジア文化史に関する幅広い視野、専門的な知識及び思考力を有すること。
2. 英語英文学、ヨーロッパ文化史またはアジア文化史に関する研究課題について、高度に専門的で、学術的な価値の高い知見を有すること。
3. 英語英文学、ヨーロッパ文化史またはアジア文化史に関する学術研究の継続的遂行及び成果の公表にむけて、自立した研究者として必要な知識、技能、意識を有すること。

【教育課程編成・実施の方針】

文学研究科は、博士後期課程において、学位授与の方針に定めた学修成果を達成するため、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

1. 学位授与の方針に定めた学修成果1、2を達成することを主たる目的として、「演習」Ⅰ～Ⅳを置き、必修とする。
2. 学位授与の方針に定めた学修成果3を達成することを主たる目的として、「論文指導」Ⅰ・Ⅱを置き必修とするとともに、研究指導を行う。

【入学受け入れの方針】

文学研究科は、次の点を確認することにより、博士後期課程への入学を受け入れる。

1. 英語英文学、ヨーロッパ文化史またはアジア文化史に関する研究者の養成という、この課程の目的に合致する入学志望動機と研究課題を有すること。
2. この課程における学修に必要な、高い水準の一般的学力(外国語を含む)を有すること。
3. この課程における学修に必要な高度な専門的な知識を有すること。
4. 研究課題に関して、専門的で学術的な価値のある知見を有すること。

経済学研究科

博士前期課程

【学位授与の方針】

経済学研究科は、博士前期課程において、所定の履修方法に従って32単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで提出した修士論文の審査及び最終試験によって、次の学修成果を達成した者に、「修士(経済学)」の学位を授与する。

1. 経済学(経済理論・応用経済・歴史)に関する幅広い視野、基本的な知識及び思考力を有すること。
2. 経済学(経済理論・応用経済・歴史)に関するいくつかの特定テーマについて専門的な知識を有すること。
3. 経済学(経済理論・応用経済・歴史)に関する研究課題について、専門的で学術的な価値のある知見を有すること。
4. 経済学(経済理論・応用経済・歴史)に関する学術研究の遂行および成果の公表にむけて、研究者として必要な知識、技能、意識を有すること。

【教育課程編成・実施の方針】

経済学研究科は、博士前期課程において、学位授与の方針に定めた学修成果を達成するため、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

1. 学位授与の方針に定めた学修成果1及び2を達成することを主たる目的として、1年次に選択必修科目として「研究科基礎」科目を置くとともに、研究科講義科目として「経済理論」科目、「応用経済」科目、「歴史」科目を置く。
2. 学位授与の方針に定めた学修成果3を達成することを主たる目的として、1年次から「研究科演習」科目を置くとともに、必要な研究指導を行う。
3. 学位授与の方針に定めた学修成果4を達成することを主たる目的として、1年次の「研究科演習」科目に加えて2年次の「研究科論文指導」によって必要な研究指導を行い、指導教員以外の教員からも助言を受けるために修士論文の「中間報告会」を設ける。

【入学受け入れの方針】

1. 本課程の学修に必要な経済学(経済理論・応用経済・歴史)の一定の基礎学力と明確な研究計画を有していること。
2. 本課程の学修において必要な専門知識・研究能力を身につけたいと考えている意欲を有すること。
3. これまでの社会経験をもとに学問研究を深めることによって社会貢献を志したいという目標をもっていること。

博士後期課程

【学位授与の方針】

経済学研究科は、博士後期課程において、所定の履修方法に従って12単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで提出した博士論文の審査及び最終試験によって、次の学修成果を達成した者に、「博士(経済学)」の学位を授与する。

1. 経済学(経済理論・応用経済・歴史)に関する幅広い視野、専門的な知識及び思考力を有すること。
2. 経済学(経済理論・応用経済・歴史)に関する研究課題について、高度に専門的で、学術的な価値の高い知見を有すること。
3. 経済学(経済理論・応用経済・歴史)に関する学術研究の継続的遂行および成果の公表にむけて、自立した研究者として必要な知識、技能、意欲を有すること。

【教育課程編成・実施の方針】

経済学研究科は、博士後期課程において、学位授与の方針に定めた学修成果を達成するため、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

1. 学位授与の方針に定めた学修成果1及び2を達成することを主たる目的として、「経済学特別演習A」及び「経済学特別演習B」を置き、必修とする。
2. 学位授与の方針に定めた学修成果3を達成することを主たる目的として、「論文指導」を置き必修とするとともに、研究指導を行う。

【入学受け入れの方針】

経済学研究科は、次の点を確認することにより、博士後期課程への入学を受け入れる。

1. 経済学(経済理論・応用経済・歴史)に関する研究者を目指すという明確な目標と研究課題を有すること。
2. 経済学(経済理論・応用経済・歴史)に関する高度な専門的な知識を有すること。
3. 経済学(経済理論・応用経済・歴史)に関する研究課題に関して、専門的で学術的な価値のある知見を有すること。

修士課程

【学位授与の方針】

経営学研究科は、修士課程において、所定の履修細則に従って32単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで提出した修士論文の審査及び最終試験によって、次の学修成果が確認できた者に、「修士(経営学)」の学位を授与する。

1. 経営学に関する幅広い視野、基本的な知識及び思考力を有すること。
2. 経営学に関する研究課題について、専門的で学術的な価値のある知見を有すること。
3. 経営学に関する学術研究の遂行及び成果の公表にむけて、研究者として必要な知識、技能、意識を有すること。

【教育課程編成・実施の方針】

経営学研究科は、修士課程において、学位授与の方針に定めた学修成果を達成するため、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

1. 学位授与の方針に定めた学修成果1を達成することを主たる目的として、1年次に「一般講義」並びに「応用講義」を置く。

2. 学位授与の方針に定めた学修成果2並びに3を達成することを主たる目的として、1年次から「演習」を置くとともに、必要な研究指導を行う。

【入学受け入れの方針】

経営学研究科は、次の点を確認することにより、修士課程への入学を受け入れる。

1. 次の(1)～(3)の人材養成及び再教育という、この課程の目的に合致する入学志望動機と研究課題を有すること。
(1)経営に関する専門職業人(公認会計士、税理士など)
(2)経営に関する高度な専門知識を有する社会人(公務員、企業人、教員、団体職員など)
(3)経営学に関する研究者
2. この課程における学修に必要な水準の一般的学力を有すること。
3. この課程における学修に必要な水準の経営学に関する専門知識を有すること。

博士前期課程

【学位授与の方針】

法学研究科は、博士前期課程において、所定の履修細則に従って30単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで提出した修士論文またはそれに代わる学修成果の審査及び最終試験によって、次の学修成果が確認できた者に、「修士(法学)」の学位を授与する。

1. 法学または政治学に関する幅広い視野、基本的な知識及び思考力を有する。
2. 法学または政治学に関するいくつかの特定テーマについて専門的な知識を有する。
3. 法学または政治学に関する研究課題について、専門的で学術的な価値のある知見を有する。
4. 法学または政治学に関する学術研究の遂行および成果の公表にむけて、研究者として必要な知識、技能、意識を有する。

【教育課程編成・実施の方針】

法学研究科は、博士前期課程において、学位授与の方針に定めた学修成果を達成するため、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

1. 学位授与の方針に定めた学修成果1を達成することを主たる目的として、1年前期に「一般講義」、1年後期から「応用講義」を置く。
2. 学位授与の方針に定めた学修成果2を達成することを主たる目的として、「特定テーマ研究」を置く。
3. 学位授与の方針に定めた学修成果3を達成することを主たる目的として、1年後期から「演習」を置くとともに、必要な研究指導を行う。
4. 学位授与の方針に定めた学修成果4を達成することを主たる目的として、「導入科目」を1年前期に置き必修とするとともに、必要な研究指導を行う。
5. 本課程が目的とする人材養成の多様性に対応するため、複数の履修コースを設け、それぞれ異なる修了要件とする。

【入学者受け入れの方針】

法学研究科は、次の点を確認することにより、博士前期課程への入学者を受け入れる。

1. 次の(1)~(4)の人材養成及び再教育という、この課程の目的に合致する入学志望動機と研究課題を有する。
 - (1)法または政治に関する専門職業人(税理士、司法書士、社会保険労務士、行政書士など)
 - (2)法または政治に関する高度な専門知識を生かした職業人(公務員、企業人、教員、団体職員など)
 - (3)法または政治に関する高度な専門知識を有する社会人
 - (4)法または政治に関する研究者
2. この課程における学修に必要な水準の一般的学力を有する。
3. この課程における学修に必要な水準の、法学または政治学に関する専門知識を有する。

博士後期課程

【学位授与の方針】

法学研究科は、博士後期課程において、所定の履修細則に従って12単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで提出した博士論文の審査及び最終試験によって、次の学修成果が確認できた者に、「博士(法学)」の学位を授与する。

1. 法学または政治学に関する幅広い視野、専門的な知識及び思考力を有する。
2. 法学または政治学に関する研究課題について、高度に専門的で、学術的な価値の高い知見を有する。
3. 法学または政治学に関する学術研究の継続的遂行および成果の公表にむけて、自立した研究者として必要な知識、技能、意識を有する。

【教育課程編成・実施の方針】

法学研究科は、博士後期課程において、学位授与の方針に定めた学修成果を達成するため、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

1. 学位授与の方針に定めた学修成果1及び2を達成することを主たる目的として、「法律学演習Ⅰ」及び「法律学演習Ⅱ」を置き、必修とする。
2. 学位授与の方針に定めた学修成果3を達成することを主たる目的として、「論文指導」を置き必修とするとともに、研究指導を行う。

【入学者受け入れの方針】

法学研究科は、次の点を確認することにより、博士後期課程への入学者を受け入れる。

1. 法または政治に関する研究者の養成という、この課程の目的に合致する入学志望動機と研究課題を有する。
2. この課程における学修に必要な、高い水準の一般的学力(外国語を含む。)を有する。
3. この課程における学修に必要な、法学または政治学に関する高度に専門的な知識を有する。
4. 研究課題に関して、専門的で学術的な価値のある知見を有する。

博士前期課程

【学位授与の方針】

工学研究科は、博士前期課程において、所定の履修細則に従って32単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで提出した修士論文の審査及び最終試験によって、次の学修成果が確認できた者に、「修士(工学)」の学位を授与する。

1. 工学に関する幅広い視野、基本的な知識及び思考力を有する。
2. 工学に関するいくつかの特定テーマについて専門的な知識を有する。
3. 工学に関する研究課題について、専門的で学術的な価値のある知見を有する。
4. 工学に関する学術研究の遂行及び成果の公表にむけて、研究者として必要な知識、技能、意識を有する。

【教育課程編成・実施の方針】

工学研究科は、博士前期課程において、学位授与の方針に定めた学修成果を達成するため、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

1. 学位授与の方針に定めた学修成果1を達成することを主たる目的として、専攻別の科目を置くほか、関連科目として他専攻の科目の履修も可能とする。
2. 学位授与の方針に定めた学修成果2、3を達成することを主たる目的として、「工学修士研修」及び「工学特別演習」を置き、必要な研究指導を行う。
3. 学位授与の方針に定めた学修成果4を達成することを主たる目的として、「修士論文」を課すほか、「技術経営特論」及び「知的財産特論」を置き、いずれか1科目を必修とする。

【入学者受け入れの方針】

工学研究科は、次の点を確認することにより、博士前期課程への入学者を受け入れる。

1. 専門分野を学ぶための基礎学力と柔軟な思考能力及び自主的に学ぶ姿勢を有する。
2. 専門分野の将来的な社会の変化、科学技術の進展に強く関わる情熱を持ち、自ら問題を見出し、解決しようとする意欲を有する。
3. 専門知識と洞察力を身につけ、国際的視野のもとに社会の発展に貢献したい意思を有する。

博士後期課程

【学位授与の方針】

工学研究科は、博士後期課程において、所定の履修細則に従って16単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで提出した博士論文の審査及び最終試験によって、次の学修成果が確認できた者に、「博士(工学)」の学位を授与する。

1. 工学に関する幅広い視野、専門的な知識及び思考力を有する。
2. 工学に関する研究課題について、高度に専門的で、学術的な価値の高い知見を有する。
3. 工学に関する学術研究の継続的遂行及び成果の公表にむけて、自立した研究者として必要な知識、技能、意識を有する。

【教育課程編成・実施の方針】

工学研究科は、博士後期課程において、学位授与の方針に定めた学修成果を達成するため、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

1. 学位授与の方針に定めた学修成果1を達成することを主たる目的として、学際基盤科目を修得する。また、「技術経営特論」及び「知的財産特論」について、前期課程で修得していない場合、いずれか1科目を必修とする。
2. 学位授与の方針に定めた学修成果2を達成することを主たる目的として、「工学博士研修」を置き必修とする。また「インターンシップ研修」、「工学特別研修」及び「工学特別実習」を置く。
3. 学位授与の方針に定めた学修成果3を達成することを主たる目的として、「博士論文」を課し、必要な研究指導を行う。

【入学者受け入れの方針】

工学研究科は、次の点を確認することにより、博士後期課程への入学者を受け入れる。

1. 工学に関する研究者の養成という、この課程の目的に合致する入学志望動機と研究課題を有する。
2. この課程における学修に必要な、高い水準の一般的学力(外国語を含む。)を有する。
3. この課程における学修に必要な、工学に関する高度に専門的な知識を有する。
4. 研究課題に関して、専門的で学術的な価値のある知見を有する。

博士前期課程

【学位授与の方針】

人間情報学研究科は、博士前期課程において、所定の履修方法に従って30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで提出した修士論文の審査及び最終試験によって、次の学修成果が確認できた者に、「修士(学術)」の学位を授与する。

1. 人間情報学にかかわる専門的な知識を有する。
2. 学術的および実社会の問題を学際的視野から捉える態度・能力を有する。
3. 学術的および実社会の問題の解決に貢献できる研究能力を有する。

【教育課程編成・実施の方針】

人間情報学研究科は、博士前期課程において、学位授与の方針に定めた学修成果を達成するため、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

1. 学位授与の方針に定めた学修成果1を達成することを主たる目的として、コア学習科目群として社会情報学、行動情報学、生命・情報学の3領域の専門科目群を置き、そのうち1つをメジャー領域として選択させる。
2. 学位授与の方針に定めた学修成果2を達成することを主たる目的として、幅広い学問領域から構成される基礎学習科目群を置くとともに、上記のメジャー領域以外の領域からも科目を選択させる。
3. 学位授与の方針に定めた学修成果3を達成することを主たる目的として、1年および2年次に「人間情報学演習」を置き必修とするとともに、必要な研究指導を行う。併せて学修成果2を達成するため、専門の異なる複数の教員による演習指導を実施する。

【入学者受け入れの方針】

人間情報学研究科は、本研究科の理念・目的を理解していることを基本的要件とし、さらに次の点を確認して入学者を広く受け入れる。

1. 大学院での学修に必要な能力(問題探究力、文献読解力、論理的思考力、作文・表現能力、コミュニケーション能力)をもっていること。
2. 研究科での専攻分野について基礎的な知識をもっていること。
3. 研究科の教育内容をよく理解した上で、本研究科での学修を強く望んでいること。

博士後期課程

【学位授与の方針】

人間情報学研究科は、博士後期課程において、所定の履修方法に従って12単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで提出した博士論文の審査及び最終試験によって、次の学修成果が確認できた者に、「博士(学術)」の学位を授与する。

1. 人間情報学にかかわる高度で幅広い知識を有する。
2. 学術的および実社会の問題を独自の視点から捉える態度・能力を有する。
3. 学術的および実社会の問題の解決に貢献できる自立した研究能力を有する。

【教育課程編成・実施の方針】

人間情報学研究科は、博士後期課程において、学位授与の方針に定めた学修成果を達成するため、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

1. 学位授与の方針に定めた学修成果1及び2を達成することを主たる目的として、「人間情報学演習Ⅲ」及び「人間情報学演習Ⅳ」を置き、必修とする。
2. 学位授与の方針に定めた学修成果2及び3を達成することを主たる目的として、「論文指導」を置き必修とするとともに、研究指導を行う。

【入学者受け入れの方針】

人間情報学研究科は、本研究科の理念・目的を理解していることを基本的要件とし、さらに次の点を確認して入学者を広く受け入れる。

1. 大学院での学修に必要な高い水準の能力(問題探究力、文献読解力、論理的思考力、作文・表現能力、コミュニケーション能力)をもっていること。
2. 研究科での専攻分野について専門的な知識をもっていること。
3. 研究科の教育内容をよく理解した上で、本研究科での学修を強く望んでいること。

I. 博士前期課程・修士課程

一般選考・社会人特別選考

1. 募集定員

◇ 一般選考

研究科	専攻	修業年限	定員
文学研究科	英語英文学専攻	2年	10名
	ヨーロッパ文化史専攻		5名
	アジア文化史専攻		5名
経済学研究科	経済学専攻		8名
経営学研究科	経営学専攻		8名
法学研究科	法律学専攻		10名
工学研究科	機械工学専攻		8名
	電気工学専攻		8名
	電子工学専攻	8名	
	環境建設工学専攻	8名	
人間情報学研究科	人間情報学専攻	8名	

◇ 社会人特別選考

研究科	専攻	修業年限	定員
文学研究科	英語英文学専攻	2年	若干名
	ヨーロッパ文化史専攻		
	アジア文化史専攻		
経済学研究科	経済学専攻		
経営学研究科	経営学専攻		
法学研究科	法律学専攻		
工学研究科	機械工学専攻		
	電気工学専攻		
	電子工学専攻		
	環境建設工学専攻		
人間情報学研究科	人間情報学専攻		

※ その他、本学卒業見込者（一部の研究科では既卒者も含む）で一定の成績基準に達した者を対象とした「特別選考」があります。詳細は入試課にお問い合わせください。

2. 出願資格

◇ 一般選考

次のいずれかに該当する方です。

- (1) 大学を卒業した方および平成30年3月までに卒業見込みの方
- (2) 大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された方および平成30年3月までに授与される見込みの方
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した方および平成30年3月までに修了見込みの方
- (4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した方および平成30年3月までに修了見込みの方
- (5) 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した方および平成30年3月までに修了見込みの方
- (6) 指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した方および平成30年3月までに修了見込みの方
- (7) 旧制学校等を修了した方
- (8) 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した方および平成30年

3月までに修了見込みの方

- (9) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた方で、平成30年3月末日までに22歳に達する方

※ 出願資格(9)は、おもに「短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者など大学卒業資格を有しない方」が該当するため、事前に履歴書、最終学校の成績証明書、卒業証明書、その他の書類（最終学校卒業後の教育歴、研修・研究歴、職歴などを証明する書類）の提出を求め、本大学院が受験資格を審査（筆記試験・面接などを含む）します。したがって、出願資格(9)により出願しようとする方は、出願期間の始まる2週間前までに入試課へ申し出て、出願の可否を確認してください。

◇ 社会人特別選考

一般選考の出願資格のいずれかに該当し、かつ次のいずれかに該当する方です。

- (1) 企業、官公庁などに正規の職員として勤務し、在職のまま入学できる方
 (2) 大学卒業後、3年以上の社会人経験（主婦を含む）を有する方

※ 出願に際しては、出願前に必ず入試課へ申し出て、出願の可否を確認してください。

3. 出 願 手 続

(1) 出願書類

各専攻によって提出書類が異なるものがあるので、熟読のうえ出願してください。

◇ 一般選考および社会人特別選考

- ① 入 学 志 願 書：本学所定の用紙
- ② 研 究 計 画 書：「7. 研究計画書作成上の注意」（13ページ）を参照のうえ作成したもの
- ③ 成 績 証 明 書：出身大学の学長または学部長が作成したもの（発行日より3ヶ月以内のもの）
- ④ 卒 業 証 明 書 又 は 卒 業 見 込 証 明 書：出身大学の学長または学部長が作成したもの（発行日より3ヶ月以内のもの）。最終学歴が大学院の場合は、併せて、修了証明書または修了見込証明書を提出すること
- ⑤ 受 験 票：本学所定の用紙（受験票は本人へ郵送されるが、試験の数日前になっても届かない場合は、本学入試課に問い合わせること）
- ⑥ 写 真：2枚（縦4cm×横3cm）、脱帽上半身正面向き、3ヶ月以内に撮影したもの（入学志願書および写真カードの所定欄に貼付すること）
- ⑦ 振込済証明書(C票)：本学所定の入学検定料振込用紙にある「振込済証明書（C票）」（金融機関収納印のあるもの）を①の入学志願書の所定欄に貼付すること
- ⑧ 受験票送付用封筒：住所・氏名を記入のうえ郵便切手362円分を貼ったもの
- ⑨ 業務報告書（人間情報学専攻の社会人特別選考出願者のみ提出）：本学所定の用紙

◇ 外国人の方

[1] 出願資格の事前審査のための書類

次の書類を準備し、出願期間の始まる2週間前までに入試課へ申し出て、出願の可否を確認してください。

- ① 外国人出願事前審査申請書（入学志願書）
- ② 成績証明書：出身大学により正式に発行されたもの（原本、コピー不可）（発行日より3ヶ月以内のもの）
- ③ 卒業証明書または修了見込証明書
 - ※ 卒業証明書は、出身大学により正式に発行されたもの、または卒業証書のコピー。
 - ※ 修了見込証明書は、出身大学により正式に発行され、学長または学部長が署名したもの（発行日より3ヶ月以内のもの）。
 - ※ 海外からの応募の際には別途お問い合わせください。

[2] 出願のための書類

出願が認められた志願者は、上記①②③に加えて次の書類を提出してください。

- ④ 研究計画書：「7. 研究計画書作成上の注意」（13ページ）を参照のうえ作成したもの
- ⑤ 受験票：本学所定の用紙（受験票は本人へ郵送されるが、試験の数日前になっても届かない場合は、本学入試課に問い合わせること）
- ⑥ 写真：2枚（縦4cm×横3cm）、脱帽上半身正面向き、3ヶ月以内に撮影したもの（入学志願書および写真カードの所定欄に貼付すること）
- ⑦ 振込済証明書(C票)：本学所定の入学検定料振込用紙にある「振込済証明書（C票）」（金融機関取納印のあるもの）を①の入学志願書の所定欄に貼付すること
- ⑧ パスポート・在留カードの写し
- ⑨ 住民票の写し
- ⑩ 日本語能力試験〈JLPT：N1〉の成績通知書またはこれに準ずるもの（日本の大学を卒業した者は提出不要）。工学研究科は、日本語能力試験〈JLPT：N2〉の成績通知書または十分な日本語能力を有することを証明できるもの
- ⑪ 受験票送付用封筒：住所・氏名を記入のうえ郵便切手362円分を貼ったもの
- ⑫ 業務報告書（人間情報学専攻の社会人特別選考出願者のみ提出）：本学所定の用紙

受験上の配慮について

障がいがある方で本学を受験する場合は、出願前（入学検定料納入前）のできるだけ早い時期に必ず入試課へ連絡してください。本学のキャンパスを見学することをお勧めいたします。また、障がいがある方や病気・負傷のため受験上および修学上の配慮を希望する場合は、下記の要領に従って申請してください。なお、必要な場合は、本学において志願者またはその立場を代弁し得る出身学校関係者等の面談等を行うこともあります。ご相談いただいた内容によっては、ご希望に添えないこともあり得ますので、予めご了承をお願いいたします。

申請方法	本学所定の「受験上の配慮申請書」と「障害者手帳」のコピーまたは医師の「診断書」のコピーを添えて申請してください。
申請期限	出願前のできるだけ早い時期に申し出てください。
連絡先	〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3-1 東北学院大学 入試部入試課 TEL：022-264-6455 FAX：022-264-6377

※ 出願に際し提出された書類は、入学者選抜にのみ使用し、他に使用することはありません。
また、出願書類および入学検定料は、事情のいかんを問わず返還いたしません。

(2) 入学検定料 **33,000円**

本学所定の振込用紙により金融機関（但し、ゆうちょ銀行を除く）の窓口で文書扱いにより払い込みください。

※ATMは使用しないでください

(3) 出願期間

日 程	出 願 期 間
秋 季	2017年8月28日（月）～9月1日（金）15時必着
春 季	2018年1月15日（月）～1月19日（金）15時必着

(4) 出願書類の提出（郵送）先

研 究 科	提 出（ 郵 送 ） 先
文 学 研 究 科 経 済 学 研 究 科 経 営 学 研 究 科 法 学 研 究 科	〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3-1 東北学院大学 入試部入試課
工 学 研 究 科	〒985-8537 多賀城市中央一丁目13-1 東北学院大学 多賀城キャンパス学務係
人間情報学研究科	〒981-3193 仙台市泉区天神沢二丁目1-1 東北学院大学 泉キャンパス学務係

※出願書類の受付時間は、日曜日・祝日・その他本学が指定する日を除き、9時から17時（ただし、土曜日は12時、出願最終日は15時まで）です。郵送の場合は、必ず本学所定の封筒を使用し、郵送先住所記入のうえ簡易書留速達郵便にて出願期間中に必着するようにしてください。

4. 試験場・試験日・合格発表

(1) 試験場

研 究 科	試 験 場
文 学 研 究 科 経 済 学 研 究 科 経 営 学 研 究 科 法 学 研 究 科	土樋キャンパス
工 学 研 究 科	多賀城キャンパス
人間情報学研究科	泉キャンパス

(2) 試験日・合格発表日

日 程	試 験 日	合 格 発 表
秋 季	2017年9月28日（木）	2017年10月6日（金）13時
春 季	2018年2月14日（水）	2018年2月28日（水）13時

※両日とも合格者の受験番号を大学構内（各キャンパス）に掲示するとともに、合格者には発表当日消印の速達で合格通知書を郵送します。なお、合否に関する電話での問い合わせには一切応じませんのでご了承ください。

5. 試験科目・試験時間

一般選考

◆文学研究科

	専門科目	外国語科目	面接・口述		
英語英文学専攻	1. 英米文学 2. 英語学・言語学 3. 英語教育学・応用言語学 ※上記科目より1科目選択	1. 英語 <table border="0" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">{</td> <td style="padding-left: 5px;"> 英文読解 英文和訳 和文英訳 </td> </tr> </table>	{	英文読解 英文和訳 和文英訳	出願書類に基づき専門分野に関する基礎学力について行う
{	英文読解 英文和訳 和文英訳				
試験時間	9:00~10:40	10:50~12:30	13:30~		
ヨーロッパ文化史専攻	1. キリスト教史領域 2. 西洋史領域 ※上記科目より1科目選択	1. 英語 2. ドイツ語 3. フランス語 ※上記科目より1科目選択 ※辞書持込可(電子辞書は不可)	出願書類に基づき専門分野に関連する基礎学力について行う		
試験時間	9:00~10:30	10:50~12:20	13:30~		
アジア文化史専攻	1. 日本史 2. アジア史 3. 考古学 4. 民俗学 ※上記科目より1科目選択	1. 英語 2. ドイツ語 3. フランス語 4. 中国語 5. 日本語(外国人留学生のみ) ※上記科目より1科目選択 ※辞書持込可(電子辞書は不可)	出願書類に基づき専門分野に関連する基礎学力について行う		
試験時間	9:00~10:30	10:50~12:20	13:30~		

◆経済学研究科

	専門科目	外国語科目	面接・口述	
経済学専攻	ミクロ経済学 経済発展論 社会経済論 財政学 社会政策論 経済モデル・シミュレーション 経済倫理学 経済統計学 東北経済論 日本経済論 世界経済論 国際経済論 国際金融論 都市経済学 マクロ経済学 経済原論 情報経済論 産業組織論 社会保障論 社会福祉論 加齢経済論 環境経済論 経済地理学 地域社会論 現代社会論 経済史(日本経済史) 経済学史	1. 英語 2. ドイツ語 3. フランス語	出願書類の審査および筆記試験で選択したそれぞれの専門科目について行う ※上記科目より2科目選択 (入学後の専攻科目とそれに近い科目を選択すること)	※上記科目より1科目選択 ※辞書1冊持込可(電子辞書は不可)
試験時間	9:00~11:00	11:20~12:40	13:30~	

◆経営学研究科

	専門科目	外国語科目	面接・口述	
経営学専攻	経営学 経営管理論 情報処理論 国際経営論 ファイナンス 国際会計論 原価計算論 租税法 商業史 商品学 経営史 経営統計論 経営組織論 人的資源管理論 財務会計論 管理会計論 税務会計論 監査論 流通論	1. 英語 2. ドイツ語 3. フランス語 4. 日本語(外国人留学生のみ)	出願書類の審査および筆記試験で選択したそれぞれの専門科目について行う ※上記科目より2科目選択 (入学後の専攻科目とそれに近い科目を選択すること)	※上記科目より1科目選択 ※外国人留学生は「日本語」科目を必須とし、他に1科目を選択 ※日本語以外の外国語科目は辞書1冊持込可(電子辞書は不可)
試験時間	9:00~11:00	11:20~12:40	13:30~	

◆法学研究科

	専門科目	外国語科目	面接・口述	
法律学専攻 (法学研究コース)	憲法	行政法	1. 英語	専攻希望科目および研究計画について行う
	民法	商法		
	民事手続法	労働法		
	刑法	刑事訴訟法	2. ドイツ語	
	法哲学	日本法制史		
	政治学	政治思想史	3. フランス語	
	国際政治学			
	※上記科目より2科目選択 ※司法試験用六法貸与	※上記科目より1科目選択 ※辞書持込可(電子辞書は不可)		
試験時間	9:00~11:00	11:20~12:20	13:30~	

	専門科目・外国語科目		面接・口述	
法律学専攻 (法学専修コース)	(専門科目)	(外国語)	専攻希望科目および研究計画について行う	
	憲法	行政法		英語
	民法	商法		ドイツ語
	民事手続法	刑法		フランス語
	刑事訴訟法	労働法		
	法哲学	日本法制史		
	政治学	政治思想史		
国際政治学				
	※上記科目より2科目選択 ただし、外国語からの選択は、1科目までとする ※司法試験用六法貸与 ※外国語辞書持込可(電子辞書は不可)			
試験時間	10:20~12:20		13:30~	

◆工学研究科

	専門科目		外国語科目	面接・口述	
機械工学専攻	材料力学	材料工学	英語		
	熱・流体力学	制御工学			
	機械力学	メカトロニクス			
	工作・機構学	生体工学			
	※上記科目より4科目選択				
試験時間	9:00~11:00		11:10~12:10	13:30~	
電気工学専攻	基礎科目		英語		
	分野科目				
	電磁気学Ⅰ (静電現象、誘電体)	電力制御分野			
	電磁気学Ⅱ (電磁波)	情報通信分野			
	電磁気学Ⅲ (磁気現象、磁性体)	電子材料分野			
	電気回路学Ⅰ (三相交流回路)				
電気回路学Ⅱ (二端子回路、分布定数線路)					
電気回路学Ⅲ (四端子回路(二端子対回路)、基礎電子回路)					
	※基礎科目より3科目と分野科目より1科目選択 ※ただし、基礎科目については、電磁気学Ⅰ～Ⅲ・電気回路学Ⅰ～Ⅲからそれぞれ1問は必ず選択すること				
試験時間	9:00~11:00		11:10~12:10	13:30~	
電子工学専攻	電磁気学Ⅰ (静電現象、誘電体)	電気回路学Ⅰ (交流回路)	電子回路学 電子数学	英語	
	電磁気学Ⅱ (磁気現象、磁性体)	電気回路学Ⅱ [二端子対回路(四端子回路)、分布定数回路、過渡現象]	電子計測学 電子材料学 電子物理学		
	※上記科目より1科目選択	※上記科目より1科目選択	※上記科目より2科目選択		
試験時間	9:00~11:00		11:10~12:10	13:30~	
環境建設工学専攻	専門科目		英語		
	構造力学	環境科学			数学基礎 (微分積分・線形代数)
	土質力学	環境工学			
	鉄筋コンクリート・コンクリート工学	建築計画			
水理学	建築設備				
	※上記科目より4科目選択				
試験時間	9:00~11:00		11:10~12:10	13:30~	

6. 入学手続

(1) 秋季試験合格者

・提出書類

①誓約書 ②学生証用顔写真貼付台紙

写真（縦4 cm×横3 cm）1枚を②に貼付してください。

・手続日

上記の書類を2017年11月17日（金）15時までに提出してください。

学生納付金等関係書類は11月下旬に送付予定です。2017年12月4日（月）までに所定の手続きにより納入してください。

(2) 春季試験合格者

・提出書類

①誓約書 ②学生証用顔写真貼付台紙 ③学生納付金振込済証明書（C票）

写真（縦4 cm×横3 cm）1枚を②に貼付してください。

・手続日

学生納付金を2018年3月9日（金）までに所定の手続きにより納入するとともに、①～③の書類を2018年3月9日（金）15時までに提出してください。

(3) 入学手続書類の提出（郵送）先

出願書類の提出（郵送）先と同じです。

※期日までに手続きを完了しない場合は、入学の意志がないものとみなします。

7. 研究計画書作成上の注意

◆記載する項目について

1. 研究課題（研究課題設定の背景と理由）：問題意識についてできるだけ詳細に記載すること
2. 予定している研究の方法などを記載すること
3. 研究課題に関連ある過去の研究上の業績（参考文献などではなく本人の業績があるときは）年次別に課題、研究年月を箇条書きに記載すること（業績がないときは記載の必要なし）

◆書式について

A 4判、1行40文字、36行で作成すること〔ただし英語英文学専攻および人間情報学専攻の社会人特別選考（該当者のみ提出）は下表の書式に基づき作成すること〕

専攻	一般選考	社会人特別選考
英語英文学専攻	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する研究主題とそれに関する研究計画 ・1200～2000字程度 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する研究主題とそれに関する研究計画（英文で作成） ・1行70ストローク、25行 2枚以上
ヨーロッパ文化史専攻	<ul style="list-style-type: none"> ※学部卒業論文またはそれに準ずる論文がある場合は併せて提出（写し） 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する研究主題とそれに関する研究計画 ・1200～2000字程度
アジア文化史専攻	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する研究主題とそれに関する研究計画 ・1200～2000字程度 <ul style="list-style-type: none"> ※学部卒業論文またはそれに準ずる論文がある場合は併せて提出（写し） 	
経済学専攻	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する研究主題とそれに関する研究計画 ・1200～2000字程度 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する研究主題とそれに関する研究計画 ・1200～2000字程度
経営学専攻		
法学専攻		
機械工学専攻	不要	
電気工学専攻		
電子工学専攻		
環境建設工学専攻		
人間情報学専攻	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する研究主題とそれに関する研究計画 ・1200～2000字程度 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する研究計画とそれに関する任意のテーマ ・市販A 4判400字詰原稿用紙に自筆またはパソコン等で作成。パソコン等で作成の場合は、原稿用紙以外でもA 4判であれば可（4000～12000字）

推薦選考

学業および人物ともに優れており、在籍している大学の学部長または高等専門学校の学校長から推薦され、合格した場合には必ず入学する意志のある方を対象とした選考です。

1. 募集定員

研究科	専攻	修業年限	定員
文学研究科	英語英文学専攻	2年	若干名
	ヨーロッパ文化史専攻		
工学研究科	機械工学専攻		
	電気工学専攻		
	電子工学専攻		
人間情報学研究科	人間情報学専攻		

2. 出願資格

専攻	出願資格
英語英文学専攻	(1)英語英文学関連の学科または専攻に在籍し、平成30年3月に大学を卒業見込みの方 (2)学業および人物ともに優れており、学部3年までの英語科目および専門教育科目の平均点が80点（4点満点のGPA3.0）以上の方 (3)大学長または学部長から推薦され、合格した場合には必ず入学する意志のある方
ヨーロッパ文化史専攻	(1)ヨーロッパ文化史関連の学科または専攻に在籍し、平成30年3月に大学を卒業見込みの方であって、学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与される見込みの方 (2)学業および人物ともに優れており、学部3年次までの外国語科目および専門教育科目の平均点が80点（または4点満点のGPA2.5）以上の方 (3)大学長または学部長から推薦され、合格した場合には必ず入学する意志のある方
機械工学専攻 電気工学専攻 電子工学専攻 環境建設工学専攻	(1)平成30年3月に大学を卒業見込みの方、または高等専門学校の修業年限2年の専攻科を平成30年3月に修了見込みの方であって、学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与される見込みの方 (2)学業および人物ともに優れており、4年制大学にあつては主要科目の学業成績の平均点が80点（GPA2.5）以上の者、高等専門学校にあつては4年次～5年次および専攻科における主要科目の学業成績の平均点が80点以上の方 (3)大学学部長または高等専門学校長から推薦され、合格した場合には必ず入学する意志のある方
人間情報学専攻	(1)平成30年3月に大学を卒業見込みの方、または高等専門学校の修業年限2年の専攻科を平成30年3月に修了見込みの方であつて、学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与される見込みの方 (2)学業および人物ともに優れており、4年制大学にあつては学部3年次までの全科目（資格科目と放棄科目は除く）の学業成績の平均点が80点（またはGPA2.5）以上の方、高等専門学校にあつては4年次～5年次および専攻科1年次における全科目の学業成績の平均点が80点以上の方 (3)大学学部長または高等専門学校長から推薦され、合格した場合には必ず入学する意志のある方

3. 出願手続

(1) 出願書類

- ① 入学志願書：本学所定の用紙
- ② 研究計画書

専攻	作成方法
英語英文学専攻	A 4 用紙 2 枚程度に英語で記述のこと
ヨーロッパ文化史専攻	A 4 用紙に1200～1400字で記述のこと
機械工学専攻 電気工学専攻 電子工学専攻 環境建設工学専攻	A 4 用紙に1200～1400字で記述のこと。なお、研究計画の作成にあたっては本学希望指導教員と協議することが望ましい
人間情報学専攻	A 4 用紙に1200～1400字で記述のこと。なお、研究計画の作成にあたっては本研究科希望指導教員と協議することが望ましい

- ③ 推薦書：本学所定の用紙
- ④ 成績証明書：発行日より3ヶ月以内のもの
- ⑤ 卒業見込・修了見込証明書：発行日より3ヶ月以内のもの
- ⑥ 受験票：本学所定の用紙（受験票は本人へ郵送されるが、試験の数日前になっても届かない場合は、本学入試課に問い合わせること）
- ⑦ 写真：2枚（縦4cm×横3cm）、脱帽上半身正面向き、3ヶ月以内に撮影したもの（入学志願書および写真カードの所定欄に貼付すること）
- ⑧ 振込済証明書(C票)：本学所定の入学検定料振込用紙にある「振込済証明書(C票)」(金融機関収納印のあるもの)を①の入学志願書の所定欄に貼付すること
- ⑨ 受験票送付用封筒：住所・氏名を記入のうえ郵便切手362円分を貼ったもの

受験上の配慮について

障がいがある方で本学を受験する場合は、出願前（入学検定料納入前）のできるだけ早い時期に必ず入試課へ連絡してください。本学のキャンパスを見学することをお勧めいたします。また、障がいがある方や病気・負傷のため受験上および修学上の配慮を希望する場合は、下記の要領に従って申請してください。なお、必要な場合は、本学において志願者またはその立場を代弁し得る出身学校関係者等の面談等を行うこともあります。ご相談いただいた内容によっては、ご希望に添えないこともあり得ますので、予めご了承をお願いいたします。

申請方法	本学所定の「受験上の配慮申請書」と「障害者手帳」のコピーまたは医師の「診断書」のコピーを添えて申請してください。
申請期限	出願前のできるだけ早い時期に申し出てください。
連絡先	〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3-1 東北学院大学 入試部入試課 TEL：022-264-6455 FAX：022-264-6377

(2) 入学検定料 **33,000円**

本学所定の振込用紙により金融機関（但し、ゆうちょ銀行を除く）の窓口で文書扱いにより払い込みください。

※ATMは使用しないでください

(3) 出願期間・出願書類の提出（郵送）先

出願期間	A日程	2017年9月11日(月)～9月14日(木)	9時～17時 (ただし、出願最終日は15時まで)
	B日程(人間情報学専攻のみ実施)	2018年1月22日(月)～1月25日(木)	
提出(郵送)先	文学研究科	〒981-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3-1 東北学院大学 入試部入試課	
	工学研究科	〒985-8537 多賀城市中央一丁目13-1 東北学院大学 多賀城キャンパス学務係	
	人間情報学研究科	〒981-3193 仙台市泉区天神沢二丁目1-1 東北学院大学 泉キャンパス学務係	

4. 試験日・試験場

試験日	A日程	2017年9月28日(木) 9時より
	B日程 (人間情報学専攻のみ実施)	2018年2月14日(水) 9時より
試験場	文学研究科	土樋キャンパス
	工学研究科	多賀城キャンパス
	人間情報学研究科	泉キャンパス

5. 選考方法

専攻	選考方法
英語英文学専攻	学業成績、研究計画書、推薦書および面接（口述試験を含む）の結果により総合的に判断する。
ヨーロッパ文化史専攻	学業成績、研究計画書、推薦書および面接（口述試験を含む）の結果により総合的に判断する。
機械工学専攻 電気工学専攻 電子工学専攻 環境建設工学専攻	出願書類の審査、以下に示す小論文の記述および面接により総合的に判断する。 (1)4年制大学を卒業見込みの者 与えられた課題に関する小論文 (2)高等専門学校専攻科を修了見込みの者 遂行した専攻科特別研究の概要に関する記述を行う小論文
人間情報学専攻	学業成績、研究計画書、推薦書および面接（口述試験を含む）の結果により総合的に判断する。

6. 合格発表

A日程 2017年10月6日(金) 13時

B日程 2018年2月28日(水) 13時

両日とも合格者の受験番号を大学構内（各キャンパス）に掲示するとともに、合格者には発表当日消印の速達で合格通知書を郵送します。なお、合否に関する電話での問い合わせには一切応じませんのでご了承ください。

7. 入学手続

(1) A日程合格者

・提出書類

①誓約書 ②学生証用顔写真貼付台紙

写真（縦4cm×横3cm）1枚を②に貼付してください。

・手続日

上記の書類を2017年11月17日（金）15時までに提出してください。

学生納付金等関係書類は11月下旬に送付予定です。2017年12月4日（月）までに所定の手続きにより納入してください。

(2) B日程合格者

・提出書類

①誓約書 ②学生証用顔写真貼付台紙 ③学生納付金振込済証明書（C票）

写真（縦4cm×横3cm）1枚を②に貼付してください。

・手続日

学生納付金を2018年3月9日（金）までに所定の手続きにより納入するとともに、①～③の書類を2018年3月9日（金）15時までに提出してください。

(3) 入学手続書類の提出（郵送）先

出願書類の提出（郵送）先と同じです。

※期日までに手続きを完了しない場合は、入学の意志がないものとみなします。

Ⅱ. 博士後期課程

一般選考・社会人特別選考

1. 募集定員

◇ 一般選考

研究科	専攻	修業年限	定員
文学研究科	英語英文学専攻	3年	3名
	ヨーロッパ文化史専攻		2名
	アジア文化史専攻		2名
経済学研究科	経済学専攻		2名
法学研究科	法律学専攻		2名
工学研究科	機械工学専攻		2名
	電気工学専攻		2名
	電子工学専攻	2名	
	環境建設工学専攻	2名	
人間情報学研究科	人間情報学専攻	3名	

◇ 社会人特別選考

研究科	専攻	修業年限	定員
文学研究科	英語英文学専攻	3年	若干名
	ヨーロッパ文化史専攻		
	アジア文化史専攻		
経済学研究科	経済学専攻		
法学研究科	法律学専攻		
工学研究科	機械工学専攻		
	電気工学専攻		
	電子工学専攻		
	環境建設工学専攻		
人間情報学研究科	人間情報学専攻		

2. 出願資格

◇ 一般選考

次のいずれかに該当する方です。

- (1) 修士の学位や専門職学位（学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下この条において同じ。）を有する方および平成30年3月までに取得見込みの方
- (2) 外国において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された方および平成30年3月までに授与される見込みの方
- (3) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された方および平成30年3月までに授与される見込みの方
- (4) 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された方および平成30年3月までに授与される見込みの方
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された方および平成30年3月までに授与される見込みの方
- (6) 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した方で、本大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた方
- (7) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた方で、平成30年3月末日までに24歳に達する方

※ 出願資格(6)により出願しようとする方は、事前に履歴書、研究歴を証明する資料などの提出を求め、出願資格について認定する。また、(7)により出願しようとする方は、事前に履歴書、論文、学会発表およびそれらの要旨などの提出を求め、本大学院が受験資格を審査する。なお、必要に応じて面接を行うことがある。したがって、これらにより出願しようとする方は、出願期間の始まる2週間前までに入試課へ申し出て、出願の可否を確認してください。

◇ 社会人特別選考

一般選考の出願資格のいずれかに該当し、かつ修了後3年以上の社会人経験（主婦を含む）を有する方です。

※ 出願に際しては、出願前に入試課へ必ず問い合わせてください。

3. 出願手続

(1) 出願書類

◇ 一般選考および社会人特別選考

- ① 入学志願書：本学所定の用紙
- ② 研究計画書：「7. 研究計画書作成上の注意」（27ページ）を参照のうえ作成したもの
- ③ 成績証明書：出身大学院の学長または研究科長が作成したもの（発行日より3ヶ月以内のもの）。出願資格の(6)または(7)により出願する場合は、大学（学部）の成績証明書を提出すること
- ④ 修了証明書または修了見込証明書：出身大学院の学長または研究科長が作成したもの（発行日より3ヶ月以内のもの）。出願資格の(6)または(7)により出願する場合は、大学（学部）の卒業証明書を提出すること
- ⑤ 修士論文またはこれに準ずる論文：次の点に注意すること
 - (ア) 修士の学位を有する者は、必ず修士論文を提出すること
ただし、法学研究科の出願者については、その者の修了した大学院において修士号の取得の要件とされていた著作物を修士論文に代えて提出することができる。また、法学研究科の出願者のうち、法務博士の学位を有する者は、修士論文またはこれに準じる論文を提出する必要がない。
 - (イ) 修士論文の写しを提出する場合は、修士論文を提出した大学院の学長または大学院研究科長による証明を添付すること（様式は問わない）
 - (ウ) 提出された論文等は口述試験終了後に返却する
- ⑥ 受験票：本学所定の用紙（受験票は本人へ郵送されるが、試験の数日前になっても届かない場合は、本学入試課に問い合わせること）
- ⑦ 写真：2枚（縦4cm×横3cm）、脱帽上半身正面向き、3ヶ月以内に撮影したもの（入学志願書および写真カードの所定欄に貼付すること）
- ⑧ 振込済証明書(C票)：本学所定の入学検定料振込用紙にある「振込済証明書（C票）」（金融機関収納印のあるもの）を①の入学志願書の所定欄に貼付すること
- ⑨ 受験票送付用封筒：住所・氏名を記入のうえ郵便切手362円分を貼ったもの
- ⑩ 業務報告書（社会人特別選考出願者のみ提出）：本学所定の用紙

◇ 外国人の方

[1] 出願資格の事前審査のための書類

次の書類を準備し、出願期間の始まる2週間までに入試課に申し出て、出願の可否を確認してください。

- ① 外国人出願事前審査申請書
- ② 成績証明書：出身大学院により正式に発行されたもの（原本、コピー不可）
- ③ 修了証明書または修了見込証明書
 - ※ 修了証明書は、出身大学院により正式に発行されたもの、または修了証書と修士学位証書のコピー。
 - ※ 修了見込証明書は、出身大学院により正式に発行され、学長または研究科長が署名したもの（発行日より3ヶ月以内のもの）。
 - ※ 海外からの応募の際には別途お問い合わせください。

[2] 出願のための書類

出願を認められた志願者は、上記①②③に加えて次の書類を提出してください。

- ④ 研究計画書：「7. 研究計画書作成上の注意」（27ページ）を参照のうえ作成したもの
- ⑤ 修士論文またはこれに準ずる論文：次の点に注意すること
 - (ア) 修士の学位を有する者は、必ず修士論文を提出すること
 - (イ) 修士論文の写しを提出する場合は、修士論文を提出した大学院の学長または大学院研究科長による証明を添付すること（様式は問わない）
 - (ウ) 法学研究科への出願者は、「論文要旨」（A4判、400字詰原稿用紙10枚以内）の提出で代えることができる
 - (エ) 提出された論文は口述試験終了後に返却する
- ⑥ 受験票：本学所定の用紙（受験票は本人へ郵送されるが、試験の数日前になっても届かない場合は、本学入試課に問い合わせること）
- ⑦ 写真：2枚（縦4cm×横3cm）、脱帽上半身正面向き、3ヶ月以内に撮影したもの（入学志願書および写真カードの所定欄に貼付すること）
- ⑧ 振込済証明書(C票)：本学所定の入学検定料振込用紙にある「振込済証明書（C票）」(金融機関収納印のあるもの)を①の入学志願書の所定欄に貼付すること
- ⑨ パスポート・在留カードの写し
- ⑩ 住民票の写し
- ⑪ 日本語能力試験〈JLPT：N1〉の成績通知書またはこれに準ずるもの（日本の大学を卒業した者は提出不要）。工学研究科は、日本語能力試験〈JLPT：N2〉の成績通知書または十分な日本語能力を有することを証明できるもの
- ⑫ 受験票送付用封筒：住所・氏名を記入のうえ郵便切手362円分を貼ったもの
- ⑬ 業務報告書（社会人特別選考出願者のみ提出）：本学所定の用紙

受験上の配慮について

障がいがある方で本学を受験する場合は、出願前（入学検定料納入前）のできるだけ早い時期に必ず入試課へ連絡してください。本学のキャンパスを見学することをお勧めいたします。また、障がいがある方や病気・負傷のため受験上および修学上の配慮を希望する場合は、下記の要領に従って申請してください。なお、必要な場合は、本学において志願者またはその立場を代弁し得る出身学校関係者等の面談等を行うこともあります。ご相談いただいた内容によっては、ご希望に添えないこともあり得ますので、予めご了承をお願いいたします。

申請方法	本学所定の「受験上の配慮申請書」と「障害者手帳」のコピーまたは医師の「診断書」のコピーを添えて申請してください。
申請期限	出願前のできるだけ早い時期に申し出てください。
連絡先	〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3-1 東北学院大学 入試部入試課 TEL：022-264-6455 FAX：022-264-6377

※ 出願に際し提出された書類は、入学者選抜にのみ使用し、他に使用することはありません。また、出願書類（論文を除く）および入学検定料は、事情のいかんを問わず返還いたしません。

(2) 入学検定料 **33,000円**

本学所定の振込用紙により金融機関（但し、ゆうちょ銀行を除く）の窓口で文書扱いにより払い込みください。

※ATMは使用しないでください

(3) 出願期間 2018年1月15日（月）～1月19日（金）15時必着

(4) 出願書類の提出（郵送）先

研究科	提出（郵送）先
文学研究科 経済学研究科 法学研究科	〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3-1 東北学院大学 入試部入試課
工学研究科	〒985-8537 多賀城市中央一丁目13-1 東北学院大学 多賀城キャンパス学務係
人間情報学研究科	〒981-3193 仙台市泉区天神沢二丁目1-1 東北学院大学 泉キャンパス学務係

※出願書類の受付時間は、日曜日・祝日・その他本学が指定する日を除き、9時から17時（ただし、土曜日は12時、出願最終日は15時まで）です。郵送の場合は、必ず本学所定の封筒を使用し、郵送先住所記入のうえ簡易書留速達郵便にて出願期間中に必着するようにしてください。

4. 試験場・試験日・合格発表

(1) 試験場

研究科	試験場
文学研究科 経済学研究科 法学研究科	土樋キャンパス
工学研究科	多賀城キャンパス
人間情報学研究科	泉キャンパス

(2) 試験日・合格発表日

試験日	合格発表
2018年2月15日（木）	2018年2月28日（水）13時

※合格者の受験番号を大学構内（各キャンパス）に掲示するとともに、合格者には発表当日消印の速達で合格通知書を郵送します。なお、合否に関する電話での問い合わせには一切応じませんのでご了承ください。

5. 試験科目・試験時間

一般選考

◆文学研究科

	専門科目	外国語科目		面接・口述
英語英文学専攻	1. 英米文学 2. 英語学・言語学 3. 英語教育学・応用言語学 ※上記科目より1科目選択	第一外国語科目 1. 英語 (英文読解 英文和訳 和文英訳)		修士論文等および研究計画書に基づき専門分野に関する基礎学力について行う
		第二外国語科目 1. ドイツ語 2. フランス語 ※上記科目より1科目選択 ※辞書持込可(電子辞書は不可)		
試験時間	9:00~10:40	第一外国語科目 10:50~12:30 第二外国語科目 13:30~14:40		15:00~
ヨーロッパ文化史専攻	1. キリスト教史領域 2. 西洋史領域 ※上記科目より1科目選択	1. 英語 2. ドイツ語 3. フランス語 ※上記科目より1科目選択 ※辞書持込可(電子辞書は不可)		修士論文等および研究計画書に基づき専門分野に関連する基礎学力について行う
試験時間	9:00~10:30	10:50~12:20		13:30~
アジア文化史専攻	出願資格(6)あるいは(7)に該当する者、修士論文等を提出できない者についてのみ実施 1. 日本史 2. アジア史 3. 考古学 4. 民俗学 ※上記科目より1科目選択	1. 英語 2. ドイツ語 3. フランス語 4. 中国語 ※上記科目より1科目選択 ※辞書持込可(電子辞書は不可)		修士論文等および研究計画書に基づき専門分野に関連する基礎学力について行う
試験時間	9:00~10:30	10:50~12:20		13:30~

◆経済学研究科

	外国語科目	面接・口述
経済学専攻	1. 英語 2. ドイツ語 3. フランス語 ※上記科目より1科目選択 ※辞書1冊持込可（電子辞書は不可）	出願書類の審査および修士論文等について行う
試験時間	9:00～10:20	10:50～

◆法学研究科

	外国語科目	面接・口述
法学専攻	1. 英語 2. ドイツ語 3. フランス語 ※上記科目より1科目選択 ※辞書持込可（電子辞書は不可）	修士論文等および研究計画について行う
試験時間	9:00～10:20	10:50～

※法務博士の学位を有することで受験資格を得ている者については、次のような選抜方法とする。

	外国語科目	専門科目	面接・口述
法学専攻	1. 英語 2. ドイツ語 3. フランス語 ※上記科目より1科目選択 ※辞書持込可（電子辞書は不可）	憲法 行政法 民法 商法 知的財産権法 労働法 民事訴訟法 刑法 刑事訴訟法 法哲学 日本法制史 政治学 行政学 国際政治学 政治思想史 ※上記科目の中から、主に研究しようとする科目を1科目選択 ※司法試験用六法貸与	研究計画および専門的知見について行う
試験時間	9:00～10:30	10:40～12:10	13:30～

◆工学研究科

	英 語	論 文	面接・口述
全専攻	・英文和訳 ・和文英訳	各人の研究主題について	各専攻の基礎的知識、修士論文および出願書類について行う
試験時間	9:00~10:20	10:30~12:30	13:30~

◆人間情報学研究科

	専門科目	外国語科目	面接・口述
人間情報学専攻	出願資格(3)あるいは(4)により出願した場合のみ、志望分野に関して行う	1. 英語 2. ドイツ語 3. フランス語 ※上記科目より1科目選択 ※辞書持込可(電子辞書は不可)	修士論文等および研究計画書を中心に行う
試験時間	9:00~10:30	10:40~12:00	13:00~

社会人特別選考

◆文学研究科・経済学研究科・法学研究科・工学研究科・人間情報学研究科

研究科	専攻	筆記試験	面接・口述試験
文学研究科	英語英文学専攻	出願資格(6)あるいは(7)により出願する場合は、志望分野に関して行う 9:00~10:30	修士論文等および研究計画書を中心に行う 11:00~
	ヨーロッパ文化史専攻	実施せず	修士論文等および研究計画書に基づき、専門分野に関連する基礎学力について行う 9:00~
	アジア文化史専攻	実施せず	修士論文等および研究計画書に基づき、専門分野に関連する基礎学力について行う 9:00~
経済学研究科	経済学専攻	志望分野に関する外国語の試験 1. 英語 2. ドイツ語 3. フランス語 ※上記科目より1科目選択 ※辞書持込可(電子辞書は不可) 9:00~10:20	出願書類の審査および修士論文等について行う 10:50~
法学研究科	法律学専攻	出願資格(6)あるいは(7)により出願する場合は、志望分野に関して行う 9:00~10:30	修士論文等および研究計画書を中心に行う 11:00~
工学研究科	機械工学専攻	出願資格(6)あるいは(7)により出願する場合は、志望分野に関して行う 9:00~10:30	修士論文等および研究計画書を中心に行う 11:00~
	電気工学専攻		
	電子工学専攻		
	環境建設工学専攻		
人間情報学研究科	人間情報学専攻	出願資格(6)あるいは(7)により出願する場合は、志望分野に関して行う 9:00~10:30	修士論文等および研究計画書を中心に行う 11:00~

6. 入学手続

・提出書類

①誓約書 ②学生証用写真台紙 ③学生納付金振込済証明書（C票）

写真（縦4 cm ×横3 cm）1枚を②に貼付してください。

・手続日

学生納付金を2018年3月9日（金）までに所定の手続きにより納入するとともに、①～③の書類を2018年3月9日（金）までに提出してください。

●入学手続書類の提出（郵送）先

出願書類の提出（郵送）先と同じです。

※期日までに手続きを完了しない場合は、入学の意志がないものとみなします。

7. 研究計画書作成上の注意

◆記載する項目について

1. 研究課題（研究課題設定の背景と理由）：問題意識についてできるだけ詳細に記載すること
2. 予定している研究の方法などを記載すること
3. 研究課題に関連ある過去の研究上の業績（参考文献等ではなく本人の業績があるときは）
年次別に課題、研究年月を箇条書きに記載すること（業績がないときは記載の必要なし）

◆書式について

A4判、1行40文字、36行で作成のこと（ただし英語英文学専攻の社会人特別選考は下表の書式に基づき作成すること）

専攻	一般選考	社会人特別選考
英語英文学専攻	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する研究主題とそれに関する研究計画 ・1200～2000字程度 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する研究主題とそれに関する研究計画（英文で作成） ・1行70ストローク、25行 2枚以上
ヨーロッパ文化史専攻	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する研究主題とそれに関する研究計画 ・1200～2000字程度 	
アジア文化史専攻		
経済学専攻		
法学専攻		
機械工学専攻		
電気工学専攻		
電子工学専攻		
環境建設工学専攻		
人間情報学専攻		

学生納付金等（参考：平成29年度）

（単位：円）

		文・経済・経営・法学研究科		工学研究科		人間情報学研究科	
		本学卒業の入学者	本学以外からの入学者	本学卒業の入学者	本学以外からの入学者	本学卒業の入学者	本学以外からの入学者
学生納付金	入学金※1	—	270,000	—	270,000	—	270,000
	授業料	577,000	577,000	600,000	600,000	600,000	600,000
	施設設備資金	180,000	180,000	230,000	230,000	220,000	220,000
	実習料	—	—	95,000	95,000	—	—
	計	757,000	1,027,000	925,000	1,195,000	820,000	1,090,000
諸会費	後援会費	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000
	同窓会入会費※2	—	3,000	—	3,000	—	3,000
	同窓会費	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
	学術研究会費	1,200	1,200	—	—	1,200	1,200
	工学会費	—	—	500	500	—	—
計	20,200	23,200	19,500	22,500	20,200	23,200	
合計		777,200	1,050,200	944,500	1,217,500	840,200	1,113,200
入学時納付金		398,700	671,700	482,000	755,000	430,200	703,200
後期(10月)納付金		378,500	378,500	462,500	462,500	410,000	410,000

- (1) 平成30年度入学生については、上記の金額が変更されることがあります。
- (2) ※1印の入学金は入学時だけの納入となり、入学時納付金に含まれています。入学年度後期の納付金は入学後10月に納入することになります。本学学部卒業者ならびに本学大学院修了者は入学金免除となります。
- (3) ※2印の同窓会入会費は、本学出身者（中学、高校、大学、大学院）は免除となります。
- (4) 本学学生納付金はスライド制を導入しているため、在学期間中（翌年度以降）に改定されることがあります。
- (5) 入学翌年度からの学生納付金は、前期（5月）と後期（10月）の2期に分けて納入することになります。

長期履修制度

(1) 長期履修制度とは

さまざまな事情により、大学院における標準の修了年限（博士前期課程および修士課程は2年、博士後期課程は3年）で修了することが困難であることが予想される場合に、この「長期履修」を申請し承認されれば、標準の修了年限を超えて在籍しても、その期間は、授業料を含めた学納金のほとんどが免除される制度のことです。

(2) どんな場合に申請できるのか

典型的には、仕事の都合や家庭の事情などで、十分な学修・研究時間がとれない場合です。また、出身学部が専攻分野とは系統がまったく異なるため、基礎的な知識が不足している場合も認められる可能性があります。

(3) いつ申請するのか

上記の理由が生じたとき、いつでも申請できます。

(4) その他

詳細は担当事務（学務部教務課・学務係）にお問い合わせください。

2018年度

東北学院大学大学院入学志願書

(経営学専攻は修士課程)

研究科・専攻	専攻	課程	選考	※ 受験番号	
1. 文学 2. 経済学 3. 経営学 4. 法学 5. 工学 6. 人間情報学	コース(法律学専攻のみ)	1. 博士前期課程・修士課程 2. 博士後期課程	1. 一般選考 2. 社会人特別選考 3. 特別選考 4. 推薦選考		
氏名	フリガナ	生年月日	性別	1. 男 2. 女	都道府県名(外国人は国籍)
		昭和・平成 年 月 日 (西暦 年 月 日生 満 歳)			
現住所(連絡先)	〒 - - 都道府県	電話 (- -) 携帯電話 (- -) 市郡区	写真貼付欄 上半身脱帽正面 3ヶ月以内に撮影のもの 縦4cm×横3cm		
学歴	1. 国立 2. 公立 3. 私立 4. その他 高等学校 (昭和・平成 年 月 卒業)				
	1. 国立 2. 公立 3. 私立 4. その他 大学 学部 学科 (昭和・平成 年 月 卒業・卒業見込)				
	1. 国立 2. 公立 3. 私立 4. その他 大学 学部 学科 (昭和・平成 年 月 卒業・卒業見込)				
	1. 国立 2. 公立 3. 私立 4. その他 大学院 研究科 専攻 (昭和・平成 年 月 修了・修了見込)				
	1. 国立 2. 公立 3. 私立 4. その他 大学院 研究科 専攻 (昭和・平成 年 月 修了・修了見込)				
職歴	昭和・平成 年 月 日 ~ 昭和・平成 年 月 日				
	昭和・平成 年 月 日 ~ 昭和・平成 年 月 日				
	昭和・平成 年 月 日 ~ 昭和・平成 年 月 日				
卒業論文題目名・既に提出(予定も含む)したものがある場合		修士論文題目名・既に提出(予定も含む)したものがある場合			
大学院入学後に予定の研究課題			希望する指導教員(現在大学院を担当している専任教員名)		
大学院修了後に希望する進路					
①	②		③		
受験科目	工学研究科受験生は未記入で提出すること。		専門科目	外国語科目	

◆学歴、職歴欄が不足する場合は裏面を利用すること。

※は記入不要

2018年度

東北学院大学大学院入学志願書

学	
歴	
職	昭和・平成 年 月 ~ 昭和・平成 年 月
歴	

振込済証明書（C票）貼付欄

<p>糊付けすること。</p>	
-----------------	---

※ 受験番号

※は記入不要

東北学院大学大学院 研究計画書（表紙）

◆いずれかの課程を○で囲むこと。
(経営学専攻は修士課程)

博士前期課程・修士課程

◆出願する研究科・専攻（コース）の番号に○をつけること。

1. 文学研究科 英語英文学専攻
2. 文学研究科 ヨーロッパ文化史専攻
3. 文学研究科 アジア文化史専攻
4. 経済学研究科 経済学専攻
5. 経営学研究科 経営学専攻
6. 法学研究科 法律学専攻
 1. 法学研究コース
 2. 法学専修コース
7. 工学研究科 機械工学専攻（社会人特別選考のみ）
8. 工学研究科 電気工学専攻（社会人特別選考のみ）
9. 工学研究科 電子工学専攻（社会人特別選考のみ）
10. 工学研究科 環境建設工学専攻（社会人特別選考のみ）
11. 人間情報学研究科 人間情報学専攻

出願者氏名	希望する指導教員（現在大学院を担当している専任教員名）

社会人特別選考で出願する場合は、入試課へ出願前に必ず問い合わせること。

◆任意のA4判用紙を使用し、①研究課題（設定の背景と理由）、②予定している研究方法、③関連のある過去の研究上の業績（本人の業績があるときは）について所定の書式で作成の上、本表紙をつけて提出すること（横書、ワープロソフトなど使用可）。

2018年度

社会人特別選考

※ 受験番号

※は記入不要

東北学院大学大学院 業務報告書（表紙）

博士前期課程

人間情報学研究科 人間情報学専攻

出願者氏名	希望する指導教員（現在大学院を担当している専任教員名）

本記載事項を承認します。

役職名

氏名

印

◆任意のA4判用紙を使用して①業務歴、②研究業績など（論文、口頭発表などがあれば、その題名、発表機関、発表年月日などを記入）について詳しく記入の上、所属長の承認を得た後、本表紙をつけて提出すること（横書、ワープロソフトなど使用可）。

2018年度

※ 受験番号

※は記入不要

東北学院大学大学院 研究計画書（表紙）

博士後期課程

◆出願する研究科・専攻の番号に○をつけること。

1. 文学研究科 英語英文学専攻
2. 文学研究科 ヨーロッパ文化史専攻
3. 文学研究科 アジア文化史専攻
4. 経済学研究科 経済学専攻
5. 法学研究科 法律学専攻
6. 工学研究科 機械工学専攻
7. 工学研究科 電気工学専攻
8. 工学研究科 電子工学専攻
9. 工学研究科 環境建設工学専攻
10. 人間情報学研究科 人間情報学専攻

出願者氏名	希望する指導教員（現在大学院を担当している専任教員名）

社会人特別選考で出願する場合は、入試課へ出願前に必ず問い合わせること。

◆任意のA4判用紙を使用し、①研究課題（設定の背景と理由）、②予定している研究方法、③関連のある過去の研究上の業績（本人の業績があるときは）について所定の書式で作成の上、本表紙をつけて提出すること（横書、ワープロソフトなど使用可）。

2018年度

社会人特別選考

※ 受験番号

※は記入不要

東北学院大学大学院 業務報告書（表紙）

博士後期課程

◆出願する研究科・専攻の番号に○をつけること。

1. 文学研究科 英語英文学専攻
2. 文学研究科 ヨーロッパ文化史専攻
3. 文学研究科 アジア文化史専攻
4. 経済学研究科 経済学専攻
5. 法学研究科 法律学専攻
6. 工学研究科 機械工学専攻
7. 工学研究科 電気工学専攻
8. 工学研究科 電子工学専攻
9. 工学研究科 環境建設工学専攻
10. 人間情報学研究科 人間情報学専攻

出願者氏名	希望する指導教員（現在大学院を担当している専任教員名）

別紙記載事項を承認します。

役職名

氏名

印

◆任意のA4判用紙を使用して①業務歴、②研究業績など（論文、口頭発表などがあれば、その題名、発表機関、発表年月日などを記入）について詳しく記入の上、所属長の承認を得た後、本表紙をつけて提出すること（横書、ワープロソフトなど使用可）。

2018年度

東北学院大学大学院

外国人出願事前審査申請書（入学志願書）

				※受験番号			
志望研究科 Course of application				専修科目 Major		指導教授 Adviser	
Graduate School		Department		Course			
研究科		専攻		課程			
フリガナ		生年月日		19 年 月 日		歳	
氏名		Date of birth		Year Month Day		Age	
Full name							
ローマ字 姓(Family) 名(First) (Middle)		性別 Sex		婚姻の有無 Marital status			
In Roman letters		男 女 Male Female		既婚 未婚 Married Single			
帰省先 Home Address				国籍 Nationality			
在留資格 Status of residence							
◆入国年月日 Date of Entry				◆在留期間満了日 Date of Expiration			
年 Year 月 Month 日 Day		年 Year 月 Month 日 Day		年 Year 月 Month 日 Day		年 Year 月 Month 日 Day	
() () ()		() () ()		() () ()		() () ()	
連絡先住所（日本国内住所） Present address (In Japan)				<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">写 真</p> <p style="text-align: center;">最近撮影した物</p> <p style="text-align: center;">Please attach a recent photo of yourself, fullface and bare-headed</p> <p style="text-align: center;">4 cm × 3 cm</p> </div>			
〒 _____							
電話 (Telephone) () 携帯 (Mobile) - -							
学歴（小学校から記入） Educational Background (From elementary school)				入学年月日 Date of entrance		卒業年月日 Date of graduation	
学校名 Name of institution				Period of attendance		学位 Degree	
小学校 Elementary school							
中学校 Junior high school							
高等学校 High school							
大学 University/College 学部 Faculty 学科 Department							
※日本語学校などについては記入しないで下さい Note : Do not include any language schools							
専修科目選択の理由 Your purpose of studying the special subjects mentioned above (In Japanese)							
入学後の研究課題を記入して下さい Planned topic of research if accepted				卒業論文名 Title of your bachelor thesis			
受験科目名 Subjects of examination				修士論文名 Title of your master's thesis			
博士前期課程・修士課程 Master course		後期課程 Doctoral course					

東北学院大学大学院

外国語学習歴（母国語以外に修得したもの） Education of foreign languages			
外国語 Foreign languages	履修期間 Period of study	履修場所 Location	
両親又は保護者 Parents or guardian			
フリガナ 氏名 Name		年齢 Age	続柄 Relationship
家族（家族について記入） Family			
続柄 Relationship	氏名 Full Name	年齢 Age	職業 Occupation
学費及び生活費の出所 Person or organization responsible for your tuition and living expenses			
氏名又は団体名 Name of person or organization			
住所 Address			関係 Relationship
職歴 Position held			
勤務先及び住所 Name and address of employer		職種 Type of work	期間 Period
兵役の有無 Military service			
◇種類 Duty status		◇期間 Period	

推薦選考

東北学院大学大学院 推薦選考推薦書

東北学院大学大学院 _____ 研究科 _____ 専攻

入学志願者 _____ を別紙のとおり推薦します。

平成 年 月 日

所 属 _____

職 _____

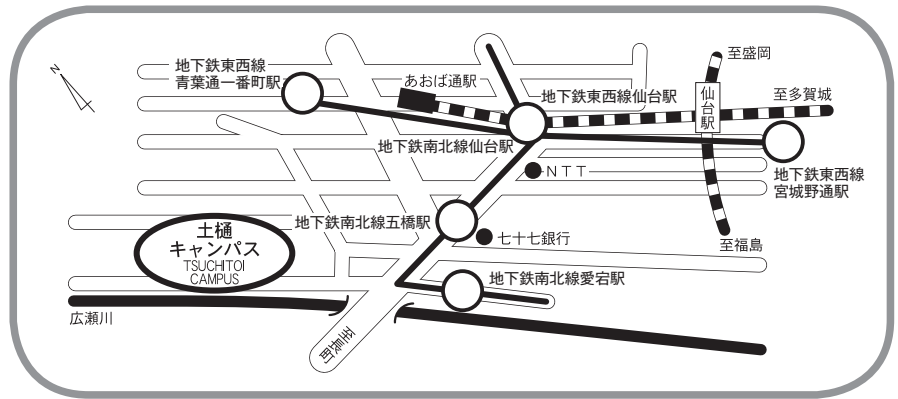
(大学長・学部長、高等専門学校長が望ましい)

氏 名 _____ ⑩

※志願者の研究分野と将来の希望および素質、性格などについてのご意見を別紙（書式自由）で作成し、厳封の上、本紙とともにご提出ください。

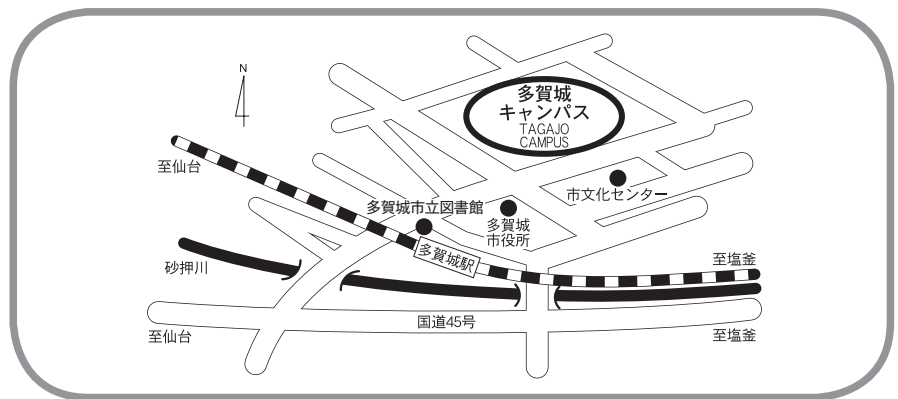
- 文学研究科
 - 英語英文学専攻
 - ヨーロッパ文化史専攻
 - アジア文化史専攻
- 経済学研究科
 - 経済学専攻
- 経営学研究科
 - 経営学専攻
- 法学研究科
 - 法律学専攻

土樋キャンパス



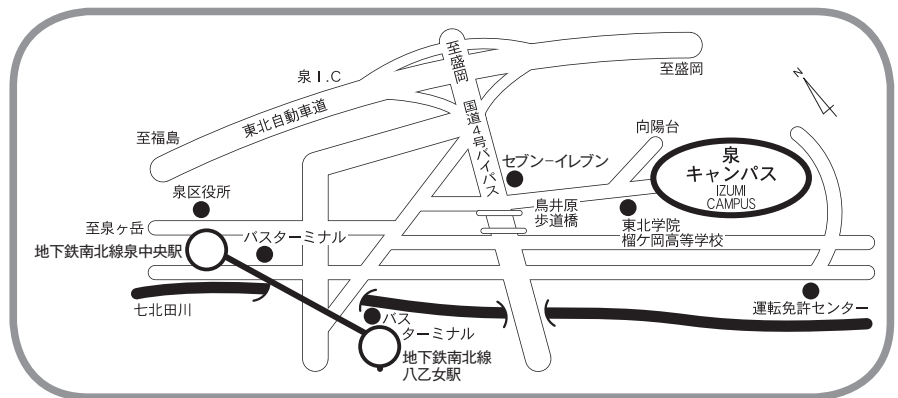
- 工学研究科
 - 機械工学専攻
 - 電気工学専攻
 - 電子工学専攻
 - 環境建設工学専攻

多賀城キャンパス



- 人間情報学研究科
 - 人間情報学専攻

泉キャンパス



☆過去の入試問題を公開しております。下記までお問い合わせ下さい。

東 北 学 院 大 学 大 学 院

文学・経済学・経営学・法学研究科 (入 試 課)	〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3-1	022-264-6455
工 学 研 究 科 (多賀城キャンパス学務係)	〒985-8537 多賀城市中央一丁目13-1	022-368-1119
人 間 情 報 学 研 究 科 (泉キャンパス学務係)	〒981-3193 仙台市泉区天神沢二丁目1-1	022-375-1141



●お問い合わせ●

〈入試に関すること〉

東北学院大学入試課

〒980-8511

宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3-1

TEL.022-264-6455 FAX.022-264-6377

nyushi@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

〈大学院全般に関すること〉

東北学院大学教務課

〒980-8511

宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3-1

TEL.022-264-6365

daigakuin@mail.tohoku-gakuin.ac.jp